

富士山の火山活動解説資料(平成20年10月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況(図1)

富士山山体下の深さ15km付近を震源とする深部低周波地震及び山体直下を震源とする高周波地震の発生はいずれも少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

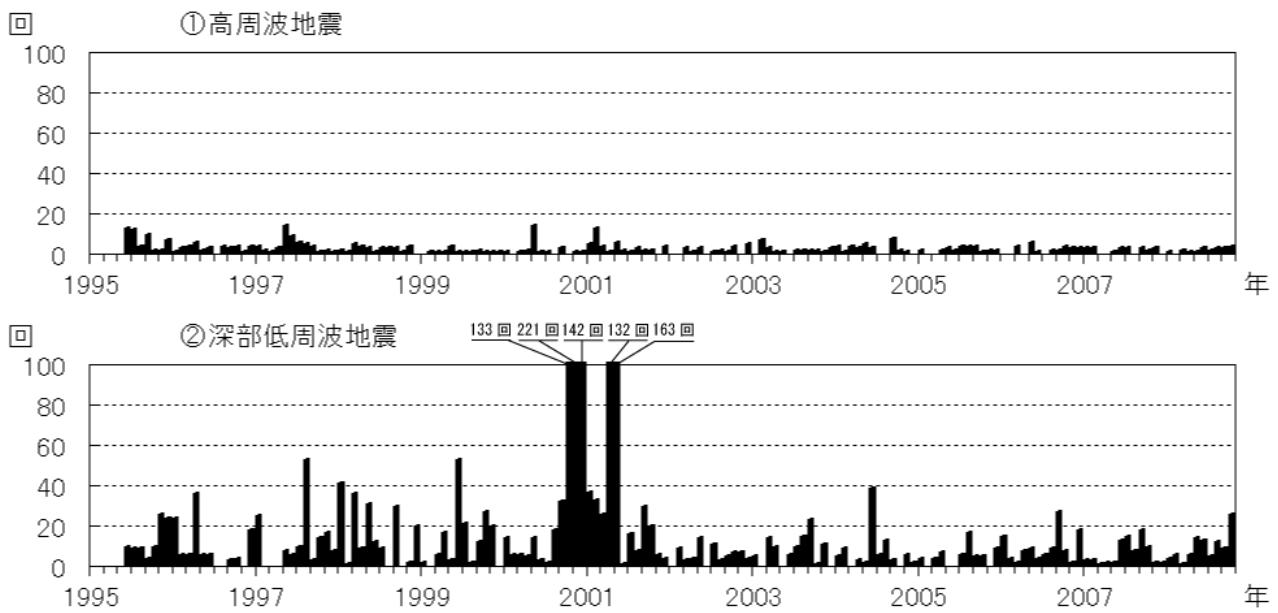


図1 富士山 月別地震回数(1995年6月～2008年10月)

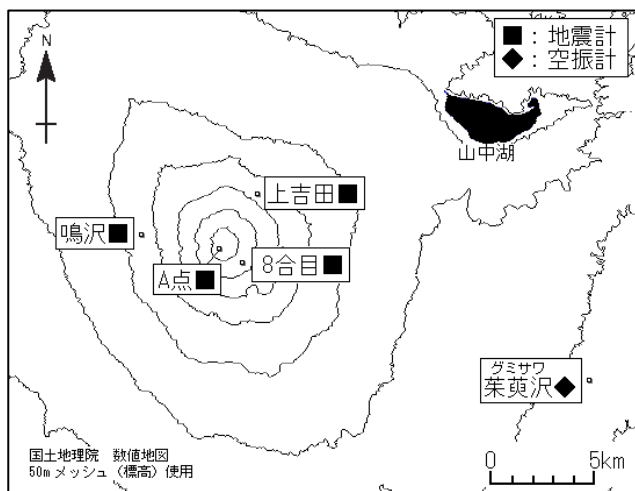


図2 富士山 気象庁の観測点配置図
(小さな白丸は観測点位置を示しています)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年11月分)は平成20年12月5日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)